

梅雨の時期に関するお知らせ

名古屋地方気象台は、本日（7月20日）に
「東海地方は梅雨明けしたと見られます。」と発表しました。

東海地方は、湿った空気の影響で雲の広がっている所がありますが、高気圧に覆われて概ね晴れています。向こう一週間は、山沿いや内陸部を中心に一時雨や雷雨となる所がありますが、高気圧に覆われて晴れる日が多い見込みです。

このため、東海地方は7月20日ごろに梅雨明けしたと見られます。

今年の梅雨明けは平年（7月19日ごろ）と比べ1日遅く、昨年（7月23日ごろ）と比べ、3日早くなりました。

（参考事項）

平年の梅雨明け：7月19日ごろ（東海地方）

昨年の梅雨明け：7月23日ごろ（東海地方）

梅雨期間降水量（5月29日から7月19日まで）（速報値）

	降水量（ミリ）	平年値（ミリ）
高山	526.5	368.5
岐阜	656.0	438.9

（注意事項）

- ・ 梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に5日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・ 梅雨の時期に関する気象情報は、現在までの天候経過と1週間先までの見通しをもとに発表する情報です。梅雨の期日は、後日、春から夏にかけての実際の天候経過を考慮した検討を行うため変更となる場合があります。